

依田洋一朗

略歴

- 1972年 香川県生まれ、生後3ヶ月でニューヨークに移り現在に至る
- 1994年 サーフライト シアター (ニュージャージー) インターンシップ (舞台装置)
- 1995年 タイラー スクール オブ アート 学士号取得 (フィラデルフィア、アメリカ)
- 1998年 クイーンズ カレッジ 修士号取得 (ニューヨーク、アメリカ)

主な個展

- 2018年 「カフェ・ルージュ」 南天子ギャラリー (東京)
- 2016-17年 「Yoichiro Yoda “Bromide Paintings”」 13th Street Repertory Theatre (ニューヨーク)
- 2015年 「絵画とライブ/ PENN 65000 Club」 ギャラリーMC (ニューヨーク)
- 2014年 「ザ・グレート・ギャッツビー・イン・ブルー」 南天子ギャラリー (東京)
- 2012年 「朝ご飯は大切です」 南天子ギャラリー (東京)
「YOICHIRO YODA DRAMAS OF MEMORY : 記憶のドラマ 依田洋一朗」 三鷹市美術ギャラリー (東京)
- 2011年 「Yoichiro Yoda」 ウイロー・スイーツ・ギャラリー (ペンシルベニア、アメリカ)
「いつかどこかで」 エリサベス・アイバース・ギャラリー (チェルシー、ニューヨーク)
- 2010年 「ザ・シャイニング・アット・ホテル・ペンシルベニア」 南天子ギャラリー (東京)
- 2006年 「すべて現実になりました」 フェイシャル・インデックス (ニューヨーク)
- 2004年 「42丁目終焉の日々」 クイーンズ・シアター・イン・ザ・パーク (ニューヨーク)
- 2003年 「Yoichiro Yoda」 テイクシー・ギャラリー (ニューヨーク)
- 2001年 「42丁目終焉の日々」 ギャラリー手 (東京)
- 2000年 「42丁目 (42nd Street)」 ヒア・アート (ニューヨーク)

主なグループ展

- 2018年 「網膜と記憶のミトロジー」 依田洋一朗×箱嶋泰美×畑山大志 セゾン現代美術館 (軽井沢、長野)
- 「A Colossal World : Japanese Artists and New York, 1950's-present」 ホワイトボックス (ニューヨーク)
- 「Personal Identity Matter」 Gallery MC, (New York)
- 「Exit 2018 -The 9th Door」 Gallery MC, (New York)
- 2017年 「CROSSPOINT : 交差する視線-20の表現」 香川県立ミュージアム (香川)
- 2016年 「瀬戸内国際芸術祭2016」 「Island Theatre Megi/女木島名画座」 (女木島、香川)
- 2014年 「堤清二/辻井喬さんへ」 セゾン現代美術館 (長野)
- 「ジャージースケープ」 ニュージャージー・シティー・ユニバーシティー (アメリカ)
- キュレーター：由本みどり
- 2013年 「パスト・テンス、フューチャー・インパーフェクト」 アートシェアLA (ロサンゼルス)
- キュレーター：コーン・ジェフ・ベイサ
- 「高松コンテンポラリーアートアニュアル vol 03 「Daydream/夢のゆくえ」 高松市美術館 (香川)
- 2011年 「ラージャー・フォーセス」 リ・インスティテュート (ニューヨーク)
- 2009年 「ホテル・ペンシルベニア終焉の日々」 オークランド・アンダー・フィルム・フェスティバル (カリフォルニア)
- 2007-8年 「メイキング・ア・ホーム：ニューヨークの日本人現代アーティストたち」 ジャパン・ソサエティー (ニューヨーク)
- ゲスト・キュレーター：エリック・シャイナー
- 1998年 「グループ ショー」 デレック エラー・ギャラリー (ニューヨーク)

パブリック・コレクション

セゾン現代美術館、高松市美術館、三鷹市美術ギャラリー